

華

65号
令和4年1月発行



常清の里



光華苑・春菊苑



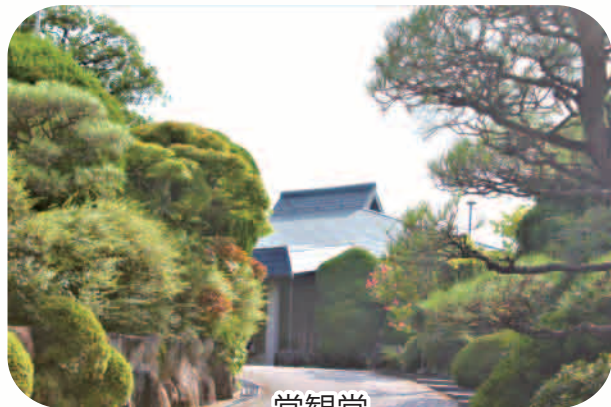
静華苑



真華苑



見付山めぐみの里



常観堂



春菊荘



ふじい



西河原デイ



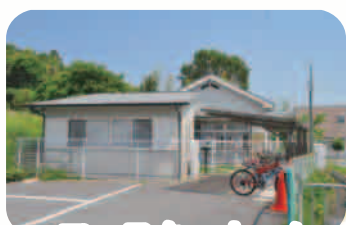
しみず



リーラハウス



子供の家



フォスターホーム

謹賀新年

受講終了者のうち、介護福祉士国家試験受験資格である「従業期間3年（1・095日）」以上、かつ5400の実務経験」を満たす2名の方が、一息つく間もなく年明けの1月30日（日）に実施予定の試験合格を目指し、法人内で11・12月に開催の「受験対策セミナー」を受講する方もあり、新たな闘志を燃やしています。

「介護職員実務者研修」 修了証明書を授与



厳しい研修を終え
ホッと一息の皆さん
(左から3・4人目)

令和3年4月1日に開講した「慶徳会介護職員実務者研修」は、レポート提出や7月からの9回のスクーリングを終了し、9月25日（土）に修了証明書授与式を執り行いました。



「介護職員初任者研修」 修了書を授与

優秀な成績に
自信あふれる修了式
(前列左から1・3・4人目)

令和3年9月4日（土）から、土曜・日曜を対象に21日間にわたり開講した「介護職員初任者研修」は、当初の日程どおり、12月18日（土）に無事修了式を迎えることが出来ました。

は、法人で栄養士として勤務しながら、介護の仕事に関心を深め、意欲的に新たなジャンルに挑戦を始めたところです。研修受講を契機として、皆さんそれぞれが次のステップに進むことを期待しています。

このたびは、法人職員3名が受講、うち2名が外国籍の方で、両者とも日本の4年制大学に留学して社会福祉を専攻し、卒業後、慶徳会の事業所で相談員として勤務しています。研修受講の目的は、介護福祉士の資格取得で、ともに日本語はN2の資格を持っていることもあり、日本語の講義等にもまったく問題なくクリアしました。もう一人の受講生

同好会の紹介「三島絵手紙サークル」 ～西河原多世代交流センター～

西河原多世代交流センターでは、コロナ禍での感染予防のため、反復した休館を余儀なくされましたが、ワクチン接種が進んだことを踏まえ、令和3年8月以降、予防対策を講じることを条件に開館となりました。それまでの間、同センター所属の各同好会も活動を休止、場合によっては解散するなど大きな影響が出ましたが、徐々に、イベントの開催や同好会活動も動き始めています。その中で、コロナ禍であっても活動を継続されている同好会のうち、平成15年にスタートされた「三島絵手紙サークル」を紹介させていただきます。

同サークルの目的は、絵手紙の作成を通して会員間の親睦を深め、高齢になっても日々前向きに楽しく生活すること、八十路を迎えられてもエネルギーに活動されている浜野絹子先生を講師にお迎えし、代表の藤原節子様を始め12名の会員で月2回サークルを開催されています。

季節ごとのテーマとして、花や青果物を持ち寄り、それを題材にハガキに水彩画とメッセージを添え、季節感を感じさせる素晴らしい作品の数々を制作され、慶徳会主催「秋華祭・文化発表会」にも多数の作品を展示して頂いています。

また、年に1回、茨木市のギャラリーで作品展をされる等、幅広く活動されています。

明けましておめでとございます。この二年間は、世界中がコロナ禍に悩まされ続けました。今年こそ、この苦境から脱却したいものです。

色々な形で、私達の生活に被害をもたらし、深刻な影響を与えましたが、一方で学びの機会になったことも少なからずあります。

衛生意識と実践の向上を初め、これまで当たり前のようにしてきたことに根本的に見直しが行われたこと、そして社会活動が制約される中で多くの工夫が行われていることなどが挙げられます。

「禍転じて…」という諺がありますが、秋華祭・文化発表会でご利用者の発表が収録動画にして頂いたことにより、舞台発表では、気づけないアットホームな雰囲気や伝わり、とても感動した点などもその二つです。

また、慶徳会は、昨年が創立90周年にあたり、記念の集いを初め各種の記念行事や記念誌の発行など2年がかりで準備に取り組みましたが、「コロナ禍」での行事の在り方が最大の課題でした。

しかし、計画を進めるにつれ、次々とアイデアが浮かび、また、それに伴って関係者の理解・結束が深まり、終始一体感を持って行事を全う出来ました。心から感謝を申し上げます。

令和3年11月5日に「茨木市立生涯学習センターきらめきホール」で「慶徳会創立90周年記念の集い及び秋華祭・文化発表会」を開催しました。昨年は大会開催を見送りましたので、2年ぶりの開催となります。

少し、沈静化したとはいえ、「コロナ禍」を考慮して開催のご案内は日頃法人に特にご縁を頂いている方々に限らせて頂くとともに、ご利用者の会場での発表を自粛して頂き、開催日までに各事業所で収録した動画の放映という形で発表して頂きました。

また、当日の様子はリモートで各事業所に発信しました。

職員などを含め約150名の皆様にご出席の中、舟木康二子供の施設長の司会で一部の式典、を開会し、初めにパワーポイントで「90



茨木市長様から
ご祝辞を頂きました

年の歩み」を光華苑の吉岡千絵子主任がナレーターを務め紹介し、大和治文相談役が記念の年を寿ぐ漢詩を吟詠しました。理事長の開会挨拶に引き続き、長年法人事業所にご支援下さっている

創立90周年記念の集い

秋華祭・文化発表会を開催



長年のボランティア活動に
特別感謝状を贈呈しました。

光宏茨木市議会議長様、そして福井紀夫茨木市社会福祉協議会会長様から、それぞれ法人の活動をご評価頂き、心温まるご祝辞を頂戴致しました。

集いを大いに盛り上げて下さったのは、大会ではすっかり馴染みとなった賛助ご出演の桐 彩扇様、中 ひろみ様そして、真奈尚子様でした。素敵な踊りと歌声に会場は魅了され、素晴らしい舞台の余韻の中で、第一部「記念の集い」を閉じることが出来ました。

司会を静華苑の佐々木英樹主任と常清の里の泉谷貴子介護職員にバトンタッチし、司会は生出演による、第二部動画放映による「舞台発表」が始まりました。舞台出演はかきませんでしたでしたが、動画

ボランティアの皆様などに理事長から特別感謝状を贈呈させて頂きました。引き続き、ご多用の中ご臨席下さいましたご来賓の福岡洋一茨木市長様、河本

で拝見するご利用者のご様子は、日常生活での収録ということもあり文字通りアットホームな雰囲気でのびのびと、楽しく熱のもった映像を収めてご披露することが出来ました。

リモート配信は、初めての試みということもあり、実行委員会も例年より回数を増やし、配信テストから手探り状態で始め、本番会場でのリハーサルを重ねて本番を迎えました。

当日、放映が途切れるトラブルもありましたが、関係委員が必死に修復に努め、また、司会が適切に間を持たしてくれたことなどにより、終始和やかに進行し、矢次淳一実行委員長の開会挨拶をもって無事に終了することが出来ました。



各事業所ご利用の皆さんの
個性と魅力一杯の作品展示

ご家族をはじめ地域の方々へ、しっかりと社会福祉施設としての役割を果たしていけるように努めて参りますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬老の日に動画でお祝い

～子供の家～



爽やかな秋風を感じる令和3年9月20日敬老の日に、子供の家の子ども達から法人内13の高齢者福祉事業所のご利用者へ、コロナ禍のため、昨年に準じて動画によるメッセージを配信するとともに職員が代わって花束を贈呈しました。

メッセージは、ご長寿のお祝いと感謝の言葉に始まり、日々成長していく様子が分かって頂けるように、アニメ「鬼滅の刃」の音楽を背に一生懸命踊る33人の子ども達の姿を見て頂き、ご利用者の日々の生活が少しでも明るくなつて頂ければという思いで制作しました。

生活環境も変わっていく中で、敬老の日を迎え、改めて沢山の方に支えられていることを実感するとともに、これからも子ども達への変わらぬご支援をお願いしたいと思います。

令和3年7月30日(金)に、茨木市スポーツ推進課主催の「ポッチャ体験会」に、「しみず」生活介護のご利用者6名が参加されました。

苑行事としての外出は久しぶりでしたので、会場の市民体育館へ向かう車中から皆さんとても嬉しそうでした。

会場には、公式競技と同じ広さのコートが用意されており、普段の活動でのポッチャのコートと比べて随分広いので、口々に「広いなあ」と驚嘆の声が上がりました。

競技で使うボールも、普段は1種類ですが、会場では軽めと重めの2種類のボールがあり、「投げる」と「転がす」

～しみず～

「ポッチャ体験会」に参加



白球に狙いを定め
打球フォームもキマっています。

の目的に見合ったボールの選択と打球法があるとのアドバイスを受けました。

競技が始まると、皆さんいつもより広いコートに苦戦しているようで、なかなか思うような打球が出来ない様子でしたが、回数を重ねるごとにコツを掴んだ方もあり、ポッチャに集中されていました。

また、新型コロナウイルスの感染対策も徹底されていて、手指の消毒はもちろん、大型ファンによる会場の換気、触れたボールはその都度、担当の方が拭き上げされていました。

あっという間に時間が過ぎ、後で感想を訊いてみると、「楽しかった」「またやりたい」など、とても好評でした。